

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

**免疫チェックポイント阻害薬による一次治療を受けた転移性腎細胞癌患者に
おける大腰筋体積指数の予後予測因子としての有用性の検討**

1. 研究の対象

2019年3月1日 から 2024年3月31日 までの間に、当院の腎泌尿器科で転移性腎細胞癌の一次治療として、免疫チェックポイント阻害剤（ニボルマブ、イピリムマブ、キイトルーダ、アベルマブ、）による薬物療法を受けられた方

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2025年12月31日 まで

251018

3. 研究目的・方法

近年、骨格筋量の低下（サルコペニア）がさまざまながんの予後に悪影響を及ぼすことが報告されています。本研究では、免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けた中間および不良リスクの転移性腎細胞癌患者において、治療前の大腰筋（背骨と大腿骨をつなぐ筋肉）の体積が予後とどのように関連するかについて調べます。

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- 年齢、性別、IMDC リスク分類（転移性腎癌の予後予測分類）、腫瘍組織型
- 画像診断（治療前の CT 画像による大腰筋体積、断面積測定）
- 治療内容（使用薬剤、治療開始日）
- 予後情報（無増悪生存期間、全生存期間）
- 体格指数、身長、体重
- 副作用情報

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：3966）

研究責任者 腎泌尿器科 中島 信幸

問い合わせ担当者 腎泌尿器科 中島 信幸